

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

至学館大学 実施報告書



実施主体 健康科学部こども健康・教育学科吉田ゼミ3年生

実施内容 平成25年10月大学祭、11月授業時において啓発活動

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状と課題やオレンジリボン運動に関する展示資料の作成、啓発活動用パワーポイントの作成およびプレゼンテーションの練習、配布用オレンジリボン作り、オレンジツリーとメッセージカードの制作などに取り組んだ。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボン及び啓発チラシを配布するとともに、資料を活用して児童虐待の現状や背景等について説明した。小学生には、暴力防止・人権擁護という観点から絵本を選び読みきかせた。また、学内に「オレンジツリー」を掲示し、児童虐待のない社会に向けてのメッセージを記入してツリーに貼るよう呼びかけた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

事前に展示資料などは整えたが、いざ説明しようと言葉に詰まってしまう、準備不足を実感した。しかし、私たちの説明に耳を傾けてくれる人がいて責任とやりがいを感じた。

「虐待」という言葉に暗いイメージがあるためか、大学祭では、説明を聞きにきてくれる人やチラシやオレンジリボンをもたらしてくれる人が少なく苦労した。一方、授業時間内のプレゼンテーションではよく聞いてもらったので、今後は活動を行う場の設定にも配慮が必要である。

活動を通して学内の「オレンジリボン」に対する認知度は高まったが、まだ児童虐待問題の深刻さなどについての理解は十分ではないようなので、今後も啓発活動を続けていきたい。

